

謹賀新年



伊予市長
中 村 佑

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新年をお健やかにお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日ごろから市政の推進に多大のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年4月1日に誕生した新伊予市も、初めての正月を迎えることとなりました。初代伊予市長に就任してから、これまで8か月余でありましたが、その使命の重大さに身を引き締め、伊予市の新たな発展とさらなる飛躍に向け、全身全霊をかけて市政運営にあたっております。これも、市民の皆様のご理解とご協力の賜と、改めて深く感謝申し上げます。

さて、昨年は7月の集中豪雨により、市内の広い範囲で災害が発生し、人命までもが奪われるという事態に発展しました。被害を受けられた方々に対しまして、心よりお見舞いとご冥福を申し上げます。また、依然として厳しい経済状況の中、国においては次年度予算編成の基本方針で、三位一体改革による国庫補助負担金の4兆円を上回る廃止・縮減、地方交付税の見直し、抑制等の改革が示されております。これを踏まえ、行政改革の推進を全力で取り組み、本市が生き残るための体力の向上に努めたいと考えております。また、新市総合計画をはじめ、合併に伴う各種事業を着実に実施し、「ひと・まち自然が出会える郷」を市民の皆様とともに築いていく所存ですので、今後、伊予市政の推進にご支援を賜りますようお願い申し上げます。



伊予市議会議長
田 中 裕 昭

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。さて、私たちが取り巻く厳しい社会情勢の中、昨年の4月1日、旧3市町の合併により、新伊予市として歴史的な第一歩を踏み出すことができました。今後、本市におきましては、旧3市町が持つそれぞれの個性を生かしつつ、自然、歴史、文化などの多彩な地域資源を活用しながら、時代の流れに因應することのできる施策の展開が必要です。

このような中、本市の更なる発展を期すため、合併を契機として、なお一層市民のニーズを的確に把握し、増大多様化する行政需要に適切に対応しつつ、住民福祉の向上と新しい時代の要請に因應する、活力ある地域社会の実現を図らなければなりません。市議会といたしましては、時代の流れをしっかりと見極め、心豊かな安心して暮らせる住みよいまちづくりのため、英知を集結し、全力をあげて取り組む所存でございます。市民の皆様には、伊予市の発展のため一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。また、本年が皆様一人一人にとって実り多いすばらしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。